

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ お客様事例
WAN高速化ソリューション

富士通エフ・アイ・ピー株式会社様

WAN高速化ツールの導入で、クラウド上に構築した社内ネットワークの最適化を実現！



サーバの集約によりWAN回線の負荷が増大。
「Steelhead」のキャッシュ機能がトラフィックを劇的に削減し、LAN同等のネットワーク速度を実現しました。

導入背景

- サーバ集約によりトラフィックが増加し、WAN回線の負荷が増大
- アクセス遅延を抑え、利用者の不満を回避したい
- トラフィック増加に対し、WAN回線の増強が必要

導入効果

- キャッシュ機能によりトラフィックを劇的に削減し、レスポンスを向上
- サーバ容量の削減と、アクセス遅延回避の両立を実現
- WAN高速化により回線増強が不要となり5年間のトータルコストを最大80%削減

クラウド環境への社内システムの集約により、WAN回線の負荷増大とネットワーク速度が課題に

「全方位クラウド」をキャッチコピーに掲げ、お客様が安心して利用できるセキュアで信頼性の高いクラウドサービスを提供している富士通エフ・アイ・ピー株式会社（以下、富士通FIP）。全国16か所のデータセンターでアウトソーシングやホスティングサービスをはじめとした信頼性の高いサービスを導入から運用までトータルに提供しています。

企業のクラウドやアウトソーシング利用が進むなか、サーバ集約により圧迫されるWAN回線の通信対策が課題となっています。富士通FIPでも各拠点で運用・管理していた社内システムや部門ファイルサーバなど社内の膨大な資源を集約し、

社内クラウドセンターとして運用を開始するにあたり、WAN高速化対策が必要となりました。

そこで着目したのが「Steelhead」です。キャッシュ機能により、LANと同等の速度を実現する点に魅力を感じ、WAN高速化ソリューションで多くの実績を持つ富士通SSLからの導入を決定しました。リファレンスモデル化推進室長代理 小池克彦氏はこう語ります。

「アクセスが集中しやすい拠点やサーバ、時間帯などはあらかじめ予想できたので、ネットワーク帯域を拡張するだけでなく、できるだけトラフィックを削減することが重要だと考えました。いろいろな製品を比較するなかで目に留まったのが「Steelhead」です。WAN回線を高速化するために作られた専用機なので、他製品に比べ格段に性能が優れていると感じました。実際

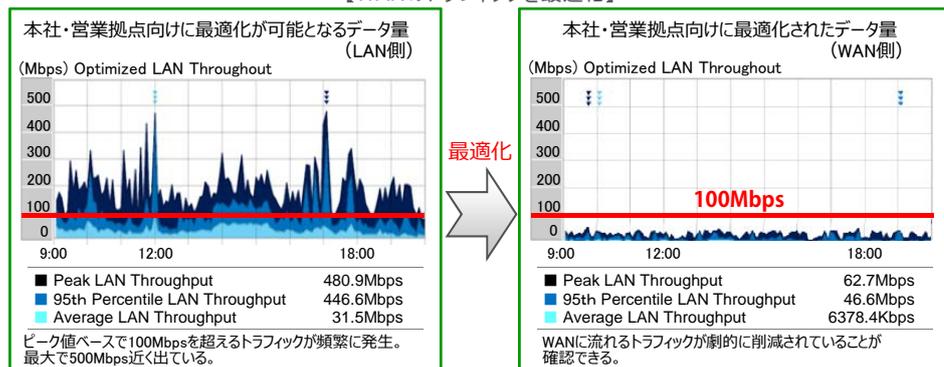
いくつかの製品で試験を行いました。 「Steelhead」の効果は十分満足のものでした。富士通SSLが提案した構成や配置計画も当社に最適化されたもので、導入の決め手となりました。」(小池氏)



富士通エフ・アイ・ピー株式会社
リファレンスモデル化推進室
室長代理 小池 克彦氏

まず営業部門のファイルサーバを集約すると、それまで30テラバイト使っていたサーバ容量が、8テラバイトで足りることがわかりました。懸念していたアクセス遅延に対するクレームも全くなく、手集中化の展開に弾みがつきました。

【WANのトラフィックを最適化】



【WAN高速化と増速とのコスト比較】



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

「Steelhead」が備えるキャッシュ機能により、WAN上のトラフィックを劇的に削減！

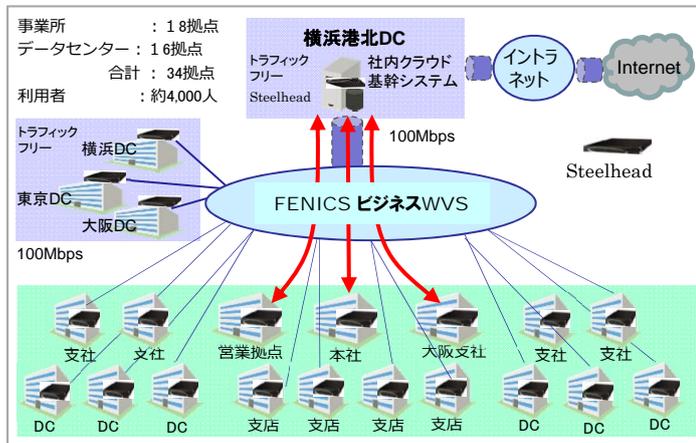
「Steelhead」には、一度送受信したデータを記憶して蓄えるキャッシュ機能があるため、同じデータを使うときは、WAN回線を経由することなく、高速で呼び出すことができます。これはWindowsUpdateなど定期的に全社員が実施する作業で特に効果を発揮します。この点について、小池氏は語ります。

「社内クラウドセンターでトラフィックが増えるのは、データのダウンロードやメールで大量の添付ファイルを送るケースなどです。この点で「Steelhead」の効果は絶大でした。本社のプリンタプレイスあたり、在籍する社員約1,000人がプリンタドライバをダウンロードしたのですが、従来ならネットワークにかなりの負荷がかかるところを、「Steelhead」は最初の1人がダウンロードしたドライバデータを蓄積しているので、あとの999人はインターネットを介すことなくLAN上でダウンロードが行えたのです。約14メガバイトのデータが、わずか20キロバイトと99%以上も削減され、通常なら約1分かかるところを数秒で完了することができたため、業務への影響はありませんでした。」

【キャッシュ機能によりトラフィックを削減し、レスポンス向上】



システム概要図



会社概要

富士通エフ・アイ・ピー株式会社
所在地:本社 〒135-8686 東京都江東区青海2丁目4番32号 タイム24ビル
設立:1977年11月28日
資本金:20億円
売上高:991億円(2011年度、連結)
事業内容:アウトソーシングサービス、Webサービス、システムインテグレーションサービス
ホームページ: <http://jp.fujitsu.com/group/fip/>

※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載の内容は、2012年11月現在のものです。
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。

<http://www.ssl.fujitsu.com/products/network/netproducts/steelhead/>

不要なトラフィックの削減によりLANと同等レベルの通信速度を実現！

小池氏は続けます。

「当社の場合、全社員の1/4は本社に在籍しています。本社から各地の部長50人にメールで添付ファイルを送る場合、半数近くは本社在籍というケースもよくあります。従来のシステムでは一旦メールサーバを経由し50人それぞれに配信されるのでネットワーク帯域を圧迫していましたが、今では最初に受信した人のデータがキャッシュされるので、本社内の部長には、メールサーバを経由せずに配信されたのと同等のトラフィックで済みます。当社では最大約90%も受信速度を短縮することができました。」

通信回線面では、富士通FIPでは回線速度を500Mbpsに増強した場合と比較し、5年間にかかるトータルコストを最大約80%削減できることがわかりました。WAN高速化の効果が予想以上に大きく、当初見込んでいた回線の増速は見送っています。

小池氏は「当社のように、社員が本社に集中するケースの多い日本の企業には大変使い勝手の良い製品で、より高い効果が期待できるでしょう」と話しています。

今後の展望

富士通FIPは、今後、海外に拠点を持つお客様へのサービス展開を検討しています。富士通SSLは「Steelhead」の海外拠点向けサービスも行っており、海外でも安心して利用いただけるよう製品調達から保守サポートまでトータルにご支援しています。

自社導入のノウハウを活かし、富士通FIPが国内外のお客様に提供するWAN高速化ツールを活用したクラウドサービスを、富士通SSLは支援していきます。

*トラフィック: ネットワーク上に流れる文書、画像などの情報量

お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ(富士通SSL)

お問い合わせ総合窓口 044-739-1251

E-mail: ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス

<http://www.ssl.fujitsu.com>